



社長！
フォトギャラリー見せてください

挫折を経て2023年に上場 創業初期メンバーで思い出話も

Photo= 横溝 敦



こばやしりょう 輸入時計卸売会社や、ホテル会員権販売会社を経て、2008年にナレルグループの前身で、建設業界向け人材派遣事業を営むワールドコーポレーションを設立し、代表取締役役に就任。

社長は忙しい。けれどできる社長は余裕があって心が豊かだ。仕事に追われる毎日で見つけた癒しや楽しみ、新規開拓した趣味などを読者と共有するコーナー。気難しい社長の意外な趣味や、楽天主長のまじめな一面が垣間見られるレア企画だ。

小林良 ナレルグループ社長

未経験者採用が功を奏し
今では同社の強みに

社長の小林良さんは、2008年に施工管理者、作図者、CADオペレーターなどの人材をゼネコンやサブコンへ派遣する会社、ワールドコーポレーションを創業しました。これにIT業界専門SEの派遣やSES事業を行うATJICと、建設業界における職人の人材紹介を行うコントラフト、全国建設人材協会が加わり、ナレルグループのグループ会社となります。

ナレルグループでは、全体の方針として未経験者の積極的な採用に力を入れています。

「プロ人材になれる、という意味で社名を『ナレル』にしました。しかし、最初から未経験者を対象にしていたわけではなく途中から切り替えてこの形になりました」

創業した08年はちょうどドリーマンシヨックの後で求職者が多くいましたが、11年の東日本大震災以降は建設需要が急激に高まり、求人募集を出しても一人も採れないという時期が続きました。そこで、視点を変えて未経験者の採用を始めたところう



1、2：上場当日の様子
3：セレモニーでの小林さん(右)と息子さん



まくいき、そのまま未経験者採用に軸足を置いて事業を進めます。

一昨年から、定着率改善に力を入れて取り組んでいるといいます。

「会社が小さかったころの定着率は高かったのですが、会社が一定程度大きくなると悪くなっていききました。貴重な人材の流出は、会社にとっても社会にとってももったいないことです。技術者は毎日派遣先に出勤するので、顔を合わせる機会が少なく、彼らの表情を直接見ることや、離職につながる悩みを早期に察知することがなかなかできません。なので、意識的に接触頻度を増やしていきます」

コロナ禍で会食ができなくなるまでは、新年会や暑気払いなどに2回ほど社内イベントを開催し、会社全体でコミュニケーションを取る場を作っていました。

「今年から徐々に再開しようと思っっています。9月には技術者同士が集まるイベントを開催しました。残年ながらその日は顔を出すことができなかつたのですが、これから関西や北海道など各拠点で開催し、今まで以上に親交を深めていきたいです」
同社は、16年に1度上場を断念し

ています。しかし、上場した方が成長が加速するだろうと考え、再チャレンジを決意します。約6年かけて内部体制を整え、23年7月に東証グロース市場への上場を果たしました。

「直近の大きなニュースは上場したことですね。うれしいという思いもありますが、ほっとしたというのが正直なところです。当日は大和証券の大きな部屋で株主に初値がついたのを見たり、セレモニーがあったり、会社に帰ると社員が拍手で迎えてくれたりいろんなことがあった1日でしたが、なんだか夢の中にいるような心地でした」

セレモニーの会場には大学生の息子さんも来ており、一緒に写真を撮りました。

その日の夜は、創業初期からのメンバー20名ほどで、当時よく行っていたお好み焼き屋さんで食事をし、思い出話を花を咲かせました。

小林さんは、今後の自身の夢についてこう語ります。

「今年で創業17年目になります。小さいところから始めましたが、せっかくなら業界の一番を目指したい。他社との差別化を進めて、いずれはトップになることが夢です」